

2021年12月（初版）

類別:機械器具 32 医療用吸引器 管理医療機器
 一般的名称:電動式可搬型吸引器 (JMDN コード 36616030)

キュータム (QT-500B)

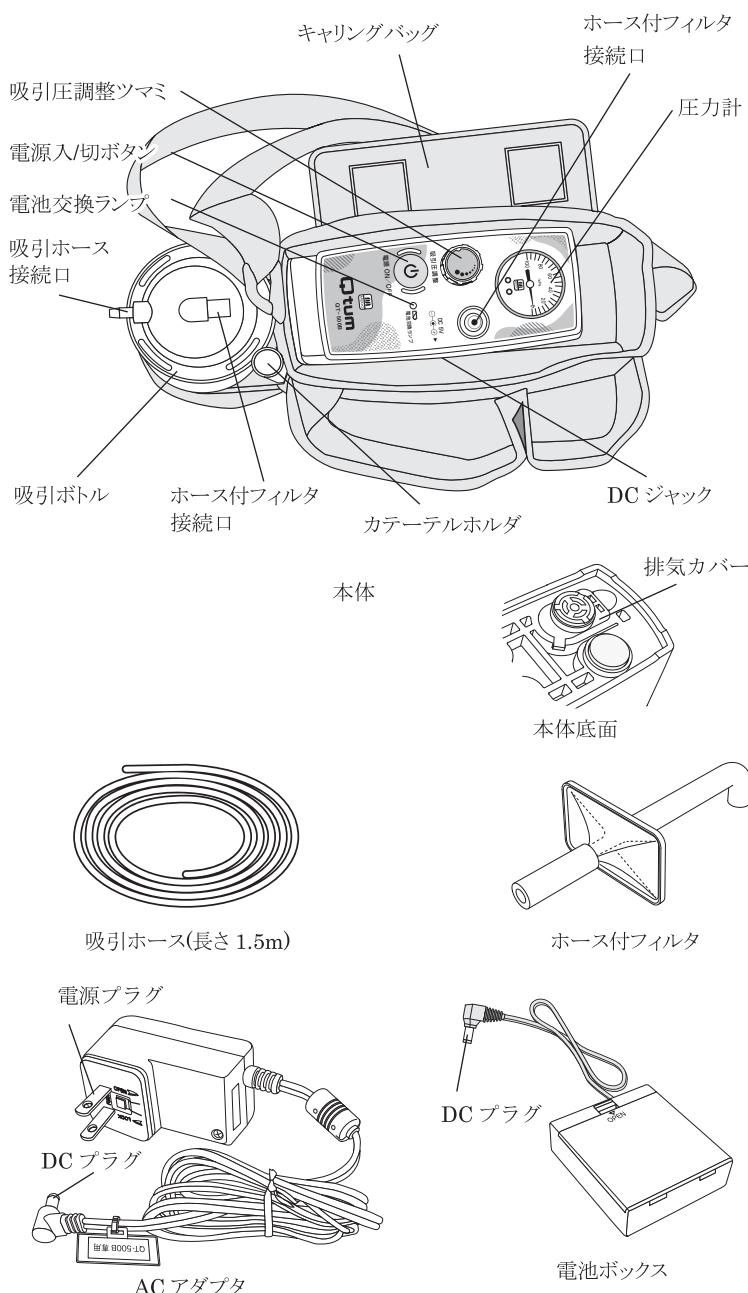
【警告】

本製品の操作は医師、または医療従事者の指導に従ってください。
 本製品の改造、分解、修理は絶対にしないでください。[事故の原因になります。]

【禁忌・禁止】

採血用に使用しないでください。
 口腔内、鼻腔内、および気道の吸引以外の目的には使用しないでください。
 化学薬品の保管場所や可燃性麻酔剤等の活性ガスが発生する場所で使用しないでください。[火災、爆発の恐れがあります。]

【形状・構造及び原理等】



<寸法及び質量>(キャリングバッグ収納時)

- ・寸法 縦 300×横 125×高さ 175 (mm)
- ・質量 1.2kg

<電氣的定格>

電源	電池ボックス	DC6V(単三形電池4本)
	ACアダプタ (SINPRO,HPU-25-102)	INPUT:100-240V~ 47-63Hz 0.7-0.35A OUTPUT:5V 3.30A max.
本体定格		DC5V/2.3A
定格時間		動作30分 / 休止30分
電撃に対する保護の形式		内部電源機器 / クラス II
電撃に対する保護の程度		B形装着部

※EMC 規格(JIS T0601-1-2:2018)に適合

<原理>

ダイアフラム式のポンプにより発生させた陰圧をレギュレータ方式の吸引圧調整ツマミにより制御し、分泌物を吸引ボトル内に吸引する。

<性能及び安全性に関する規格>

- ・最大吸引圧力: -66.6kPa(-500 mmHg)
- ・排気流量: 7.5L/min

【使用目的又は効果】

口腔内、鼻腔内及び気道内の分泌物吸引に用いる。

【使用方法等】

<電池ボックスの準備>

単 3 形電池 4 本を電池ボックスの表示の向きに合わせて入れます。

<本体の準備>

- 1) 本体を水平で安定した場所に置き、本体と吸引ボトルをホース付フィルタで接続します。
- 2) 吸引ボトルに吸引ホースを接続します。
- 3) 電池ボックスを使用する場合は、電池ボックスの DC プラグを本体の DC ジャックに接続します。
AC アダプタを使用する場合は、AC アダプタの DC プラグを本体の DC ジャックに接続し、AC アダプタ本体をコンセントに接続します。
- 4) 電源入/切ボタンを押すと、ポンプが始動します。空気が漏れないように吸引ホースの吸引口を指で塞ぐか、吸引ホースを折り曲げた状態で、吸引圧調整ツマミを右回りに閉め切ったときに圧力計が -40kPa 以上を指すことを確認してください。次に吸引圧調整つまみを左回りに開き切ったときに圧力計が 0 を指すことを確認してください。確認が終了したら電源入/切ボタンを押して停止してください。

<使用方法>

- 1) 上記の手順に従って、本体の準備を行ってください。
- 2) 電源入/切ボタンを押してください。
- 3) 吸引ホースを空気が漏れないように折り曲げ、吸引圧調整ツマミを回して圧力計を見ながら患者に必要な圧力に調整してください。
- 4) 吸引ホースをまっすぐに戻した後、吸引を始めてください。

取扱説明書を必ずご参照ください。

＜使用後の作業＞

- 1) 電源入/切ボタンを押して停止させた後、本体からDCプラグを抜いてください。
- 2) 吸引ボトルから吸引ホースとホース付フィルタを取り外し、吸引ボトルのキャップを回して取り外し、溜まった吸引物を捨ててください。
- 3) 吸引ボトルと吸引ホースの洗浄・消毒を行ってください。

【使用上の注意】

- ・本体や電池ボックス、ACアダプタは防水構造ではありません。水をかけたり、水に浸したりしないでください。
- ・本製品に異常を感じた場合は直ちに電源を切り、DCプラグを本体から抜き、ACアダプタを使用しているときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・子供だけで使用させたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。事故につながる場合があります。
- ・本製品は周囲温度0から40℃、相対湿度30から75%の環境で使用してください。正常に作動せずに、事故につながる場合があります。
- ・使用前に必ず本体が正常かつ安全に作動することを確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。事故につながる場合があります。
- ・使用前に圧力計が0を指していることを確認してください。異常がある場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。事故につながる場合があります。
- ・ご購入後、初めてお使いになるときや、長期間使用しなかった場合は、取扱説明書を参考にして使用前に洗浄・消毒を行なってください。
- ・長期間使用しなかった場合は、点検に出すなど、作動上の安全を確認してから使用してください。事故につながる場合があります。
- ・吸引ボトルのキャップにはパッキン、フロートバルブ、フロートを必ず取り付けて使用してください。また、吸引ボトルのフロートは上下に自由に動くことを確認してください。吸引物が一杯になったときや吸引ボトルが倒れたときにあふれ、こぼれが防止できません。
- ・吸引ボトル内に吸引物が一杯にならないよう常に監視してください。吸引物がオーバーフローして本体内に流入した場合、機器内部のレギュレータやポンプの故障を引き起こす原因になります。
- ・吸引圧を変更する場合は、圧力計を見ながら徐々に調整してください。事故につながる場合があります。
- ・吸引ボトルやフィルタ等の消耗品はこまめにチェックし、交換してください。正常に作動せずに、事故につながる場合があります。
- ・本体と吸引ボトルは専用のキャリングバッグに入れて使用してください。吸引ボトルが転倒する原因になります。
- ・使用後は吸引ボトル内、吸引ホース、排気カバーの洗浄・消毒を行なってください。感染の恐れがあります。
- ・専用の別売品以外使用しないでください。本製品が正常に作動しない恐れがあります。
- ・本製品に強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。圧力計の針がずれて正しい表示がされなくなります。その場合は使用を中止し、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。
- ・吸引ボトル内に陰圧が残っている状態で運転を開始させないでください。過負荷保護機能が働き作動できません。過負荷保護機能については取扱説明書をご確認ください。
- ・輸送中などボトルに吸引物が入った状態で本製品を傾けたり、倒したりしないでください。吸引物がフィルターまで到達し、使用できなくなります。

＜お手入れについて＞

- ・お手入れの際は、必ず本体からDCプラグを抜いてください。感電の原因になります。
- ・吸引ボトル、吸引ホースの洗浄は、ぬるま湯（40℃程度）か薄めた中性洗剤で行ってください。
- ・洗浄時の吸引においても、吸引ボトル内が一杯にならないよう常に監視してください。
- ・吸引ボトル、吸引ホースの消毒は、各材質にあった消毒薬をご使用ください。
- ・消毒の際は、消毒薬の用法、用量を守り正しくお使いください。
- ・消毒の前に必ず取扱説明書を参考に洗浄を行ってください。
- ・洗浄・消毒した部品は、十分に水洗いを行い、速やかに乾燥させた上、清潔な場所に保管してください。（乾燥が十分でないと、雑菌が繁殖し感染の原因になります。）
- ・エチレンオキシドガス（EOG）滅菌をしないでください。エアレーションが不十分な場合、残留・残存したエチレンオキシドガスに

より、人体に悪影響を及ぼす恐れがあります。

- ・本体をベンジンやシンナーなど揮発性の薬品で拭かないでください。故障の原因になります。

＜電源について＞

- ・必ず専用の電池ボックスまたはACアダプタ（白色）を使用してください。火災や故障の原因になります。
- ・本製品は停止状態でも微小な電流が流れているため、使用後は、電源プラグをコンセントから抜いてください。電池ボックスを使用している場合は、DCプラグを本体から抜いてください。
- ・DCプラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずDCプラグを持って引き抜いてください。故障の原因になります。
- ・電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ずACアダプタ本体を持って引き抜いてください。故障の原因になります。
- ・長時間使用しないときは電池ボックスから電池を抜いてください。液漏れの原因になります。
- ・電池交換ランプが点滅・点灯したら、直ちに電池を交換してください。十分な吸引力が発揮されません。
- ・電池は市販の単三形アルカリ乾電池または充電式電池を使用してください。
- ・電池の＋と－の向きを正しく入れてください。液漏れ・発熱・破裂の原因になります。
- ・使えなくなった電池はすぐに取り出してください。液漏れの原因になります。
- ・電池の注意書きを良くお読みください。
- ・電源コード、電源プラグを傷つけたり、破損させたり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- ・電池ボックスを傷つけたり、破損させたり、加工したりしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
- ・異なる種類の電池で使用しないでください。液漏れ・破裂の原因になります。
- ・使えなくなった電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。液漏れの原因になります。
- ・ぬれた手でACアダプタを抜き差ししたり、触ったりしないでください。感電の原因になります。

【保管方法及び有効期間等】

(1) 保管方法

水濡れに注意し、直射日光の当たる場所や温度、湿度の高い場所を避けて保管のこと。

保管条件：周囲温度-10～60℃、湿度10～95%（結露なきこと）

(2) 耐用期間[自己認証（当社データ）による]

本 体 5年

【取扱い上の注意】

- ・取扱いを間違えると不具合を生じることがありますので、使用方法、使用上の注意等を厳守してください。
- ・寿命の終わった本製品の廃棄に関しては、地域で定める条例に従って廃棄してください。

【保守・点検に係る事項】

使用前に、必ず本製品が正常かつ安全に作動することの確認を行ってください。

取扱説明書に記載の点検を必ず行ってください。異常がある場合には、お求めの販売店に点検・修理を依頼してください。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元	日東工器株式会社
住 所	〒146-8555 東京都大田区仲池上2-9-4
電 話	03-3755-1111
F A X	03-3755-5294

製 造 元 栃木日東工器株式会社